令和７年度　１月定例会会議録

◎開 催 日 時　　令和８年１月２９日（木）　午後１時３０分～午後３時１５分
◎場　　所　　伊那公民館
◎出 席 委 員　　福與教育長、北原教育長職務代理者、黒河内教育委員、宮坂教育委員、中村教育委員
◎欠 席 委 員　　なし
◎出 席 職 員　　髙嶋教育次長、唐澤学校教育課長、北澤市誌編さん室長、小松指導主事、
髙嶋指導主事
村松こども部長、澁谷こども政策課長、宮下子育てサポート課長
酒井学習課長補佐（柴生涯学習課長の代理）、北原教育総務係長

１　開　　会

２　あいさつ　教育長

・１月もあと２日となっているが、定例教育委員会は今年初めということで、新年のあいさつをさせていただきながら、あいさつに代えさせていただきたい。今年は午年であるが、午年は前向きなエネルギーの象徴とされており、物事が順調に進む年とも言われている。私たちが進めている教育行政も、一歩一歩着実に、力強く進める１年にしたいと考えている。
・教育委員、事務局の皆さん、是非、力を出し合って前に進める１年にしたいと思っているので、よろしくお願いしたい。
・もう一点、訃報ということで、ご承知いただきたい。この１月に伊那北小学校の６年の女の子が亡くなった。先天性の病気を持っていた子。他の子よりもエネルギッシュな様子を見たことがあったが、昨年、９月に体調を崩して豊科のこども病院に入院し、１月１１日に亡くなった。お母さんも大変切ない思いでおられたが、最後に学校の担任とも窓越しで面会することができ、最後に明るい顔を見ることができた。葬儀に際しては、私も出席させていただき、弔意を表した。もう少しで卒業のところで切ない。
・すべての子が元気に過ごせる１年になってほしいと願っている。

３　委員のひと言　福與教育長

４　会議事項

第１　教育長報告

・１月１日長谷地区、２日高遠地区で二十歳の集い。長谷地区に参加、振袖姿が華やかであった。総合の学習で長谷のラー油を作り始めた子どもたちである。スライドを見ながら、当時を振り返ったりする姿が印象的だった。
・１月１４日は長野県市町村教委連絡会に出席。教職員の研修や働き方改革が主な内容。特に教職員の働き方、勤務状況については、総合教育会議で必ず取り上げ報告をするよう、給特法の改正に伴う指針が示されており、来年度は対応する予定である。
・１月１６日は、高遠高校のフォーラム、芸術フェスティバルに招待をいただいた。伊那県民文化会館小ホールで研究発表、展示ホールで絵画、書道が展示されていた。特に書道の生徒について、１年生から３年生の年間の作品を並べて展示されており、３年間の上達成長ぶりを感じることができた。
・１月１７日は、人権同和教育講演会。蓮池透さんをお迎えしての講演会。３００人の方にお集まりいただき、入れない方もいるくらいの状況。改めて、拉致問題は人権侵害の大きな問題と感じ、一刻も早い問題の解決を願う。
・１月２０日は議会臨時会。物価高対策ということで、こどもたちの給食補助について、議会に賛同をいただいた。

・１月２５日は古文書コンテストの２回目の表彰。上位３名の方を招いて表彰。昨年より５８万字以上多く解読をいただいた。高遠に残る多くの古文書が解読されていくことはありがたく、また、それを皆さんに広く知っていただくことが大切と考える。
・１月２７日は暮らしのなかの食の実践報告会。お忙しい中、教育委員の皆様にもご参加をいただき、ありがとうございました。伊那市で取組み始めて１０年、大事な取組みであり、形骸化しないようにしていきたい。
・同日、上伊那総合技術新校の懇話会があった。設計事務所が決定し、設計、学校の様子も出ている。県のホームページにも、どんな学校になるのか、絵がでているのでご覧いただきたい。

第２　議案
（１）議案第１号　伊那市いじめ問題対策連絡協議会　委員の委嘱について
・酒井課長補佐より資料に基づき説明
（質問・意見なし）

全会一致　承認

第３　協議事項
（１）卒業式及び入学式の日程について
・学校教育課長から資料に基づき説明
Ｐ５　告示　伊那北小学校部分削除

・教育長から「人事等がはっきりしていないなかで、今のところということでお願いしたい。」旨の補足説明があった。
（質問・意見なし）

（２）伊那市生涯学習基本構想後期計画の策定について
・生涯学習課長補佐より資料に基づき説明

・教育委員から「表紙の写真について、藝大の学生がメインとなっているが、趣旨に沿っているのか。キャリアフェスや図書館のイベント、子育て支援センターの行事写真等が良いのではないか。」旨の質問があり、
生涯学習課長補佐から「検討したい。」旨の回答があった。

・教育長から「明日、最終の審議会があり、話題にしていきたい。」旨の補足があった。

・教育委員から「データの使い方について、例えば、生涯学習に関する意識調査についてのデータがあるが、文書とデータとの整合がわかりにくい部分がある。例えば、「全体の７５％を超える人が活動を行っている。」との記載とあるが、統計データでの確認ができない。「前回調査の８割から少し減少」とあるが、前回と今回を比較したグラフはない。「３０～５０代の学習離れが顕著に見られる」との記載があるが、文書の内容に見合ったデータがない。文書にあったデータを載せるかどうかということであるが、「学習活動について、この１年どんな活動を行ったか」ということについては、考察がでていない。つながりが、わかりにくいので、データに連動した考察があると良いと思うのが感想。「中学では７割の・・」という記載では、グラフが出てくる。そのあたりが疑問に思ったのが一点。次に、学習活動の満足度について、誰が対象なのか。よく見ると、中学生ではなく一般の方なのかと思う。読んでいかないとわかりにくい状況。年代別にデータを示す意味があるのか、出ているグラフと課題が連携しておらず、とてもわかりにくい。他にも、学習活動についての記載とＫＰＩの関係も

整合していない。グラフとの整合性に疑問。グラフと全体との関係ををはっきりさせていきたいと思う。」旨の意見があった。

・教育委員から「職務代理の指摘のとおり、グラフと考察について疑問の点がある。Ｐ１２のグラフについて、Ｒ７，Ｒ２、を比較すると「行政はどのようなことに力をいれていくべきか」という設問に対し、無回答が圧倒的に多いが比較に意味があるのか疑問がある。また、５分の３と６０％という表現が並んでいるが、並べる必要があるのか。余分な表現があるとわかりにくいと思う。」旨の意見があった。

・教育長から「明日、最終の審議会があるので、今いただきました意見も踏まえて対応していきたい。」旨の説明があった。

第４　報告事項

（1）「伊那市中学生キャリアフェス２０２５」の実施報告について

・学校教育から資料に基づき説明

・教育長から「学校の先生方について、アンケートをみても、キャリフェスに向かう意識が変わってきていると思う。大事な事と思う。」旨の意見があった。

・教育委員から「１０回目となる。慣れてきたこともありので、よほど新しいことを企画しないかぎり、上手くいかないことはないと感じた。」旨の意見あった。

・教育長から「今年は、入れ替わりのタイムスケジュールを組まずにやってみた。それが功を奏したような意見、反省をいただいている。子どもたちも上手に回ったのではないか。大人の熱い語りも、こちらも引き込まれるようだった。大事な場、続けて来年も良いフェスティバルにできたらと思う。」旨の意見があった。

（2）「令和７年度 伊那市二十歳のつどい」実施報告及び令和８年度実施方法について

・生涯学習課長補佐から資料に基づき説明

（本年度の開催については、質問・意見なし）

（来年度の開催方法の変更について）

・教育委員から「開催方法について、公民館中心から市主催となるが具体的な方法は。」旨の質問があり、

生涯学習課長補佐から「従前より、竜西地区については、生涯学習課が携わって開催をしてきた。その方式に倣って行う。各地区で行ってきた茶話会等は、市主催では行わない。各地区主催のものは、地区で考えてもらう。統一感をもって、市全体でお祝いをしていく。」旨の回答があった。

・教育委員から「夏は２日間に渡って４回の開催ということで、負担は大きいと思うが、今までの竜西の対応を活かしながら取り組んでいただきたい。また、中学校単位なので、現在の中学校の校長先生に参加してもらってはどうか。検討をしていただきたい。」旨の意見があった。

（3）人権同和教育事業について

・生涯学習課長補佐から資料に基づき説明

（質問・意見なし）

（4）市誌編さん事業の進捗状況について

・市誌編さん室長から資料に基づき説明
（質問・意見なし）

（５）来月以降の文化施設の行事日程について
・生涯学習課長補佐から資料に基づき説明
（質問・意見なし）

（６）共催・後援について
・生涯学習課長補佐から資料に基づき説明
（質問・意見なし）

５　その他（教育次長）
（１）次回定例会について
（２）３月以降の主な行事予定について

６　閉　　会